

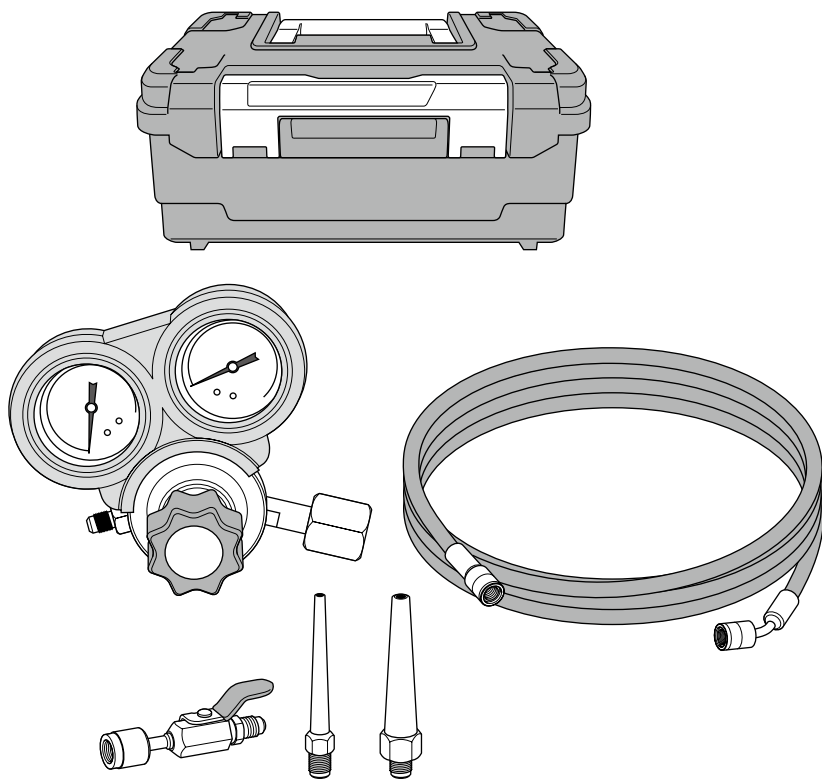
Asada

環境を守る親切ツール

空調工具

チツソブローキット

取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

IM1202

チソブローキット

安全にご使用いただくために



このたびは、チソブローキットをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡ししてください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
 - ・ ご注文の商品の仕様と違いはないか。
 - ・ 輸送中の事故等で破損、変形していないか。
 - ・ 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
(本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。)

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の2つのレベルに分類されます。

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
|  警告 | 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。 |
|  注意 | 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。 |

目次

安全上のご注意	2	使用方法	4
製品の構成	3	準備	4
各部の名称	3	調整器圧力調整方法	5
仕様	3	チソブロー	6
標準付属品	4	フラッシング	6
別販売品	4		

安全上のご注意

- ここでは、本機を使用するにあたり、一般的な注意事項を示します。
- 作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載しています。

▲ 警告



- ◆**ゲージガードをつけた場合でも、圧力計の側面の位置から操作してください。**
調整器の一番弱いところは圧力計です。圧力破損事故のとき、圧力計の正面にしていると大変危険です。
- ◆**調整器やバルブの各部に、ペイント・グリス・油等を用いたり、付着させないでください。**
- ◆**容器弁を開く前に調整ハンドルは、必ず戻しておいてください。**
ガスが急激に流入すると、発火事故や圧力計の破損事故を起こすことがあります。
- ◆**容器弁を急激に開かないでください。**
容器弁を急激に開くと断熱圧縮現象（ガス圧縮による発熱）で150気圧で約900℃（鉄が燃える）、20気圧で約400℃（油が燃える）の高温になりますから非常に危険です。高圧計の指針がゆるやかに上がる程度で、徐々に静かに開いてください。
- ◆**必ず容器弁のハンドルは取付けたままにしてください。**
発火事故のとき、直ちに容器弁をしめられる様に、ハンドルは容器に必ずつけたままにしておいてください。

▲ 注意

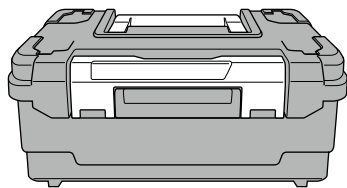


- ◆**調整器の取付けの際は、調整器の内部に埃が入らぬ様、取付け前に容器のガスを少量放出し、口金のまわりのほこりを吹き飛ばしてから取付けてください。**
「取付けナット」「金具」は十分に締付け、ガス漏れのないことを確認してご使用ください。
- ◆**常に正常な状態でご使用いただくため、始業点検は日常の習慣として必ず励行してください。**
少しでもガス漏れなどがありましたら、修理に出してください。
修理には必ず純正部品をお使いください。
 - 1) 圧力を抜いても圧力計が零点の位置に戻らない場合は、圧力計が故障しているので、直ちに取替えてください。
 - 2) ガスの放出を停止しても、2次圧力が少しずつ上がる時、又は調整ハンドルを戻し低圧ガス出口に石鹸水をつけ泡立つ時は、調整器の故障です。（出流れといえます。）
 - 3) 保守点検は、日常の習慣として必ずご使用の前に行ってください。
- ◆**年1回以上、作動状況その他技術上の基準に適合しているか、専門工場にて定期点検を行ってください。**
- ◆**長時間作業中止の時は、必ず「容器弁を閉じ」「調整ハンドルをゆるめて」ください。**
- ◆**調整器をみだりに分解しないでください。**

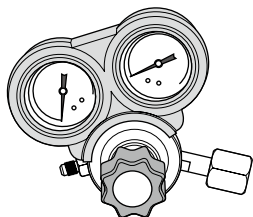
チソブローキット

製品の構成

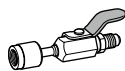
各部の名称



収納ケース



チソブロー用調整器



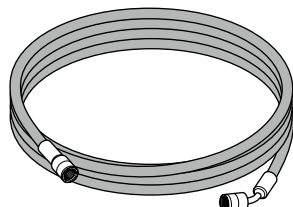
1/4" ボールバルブ
(オス×メス)



テーパノズル
小



テーパノズル
大



チソ用ホース 3m
(ムシ押し付)

仕様

品名		チソブローキット
コード No.		XP676
チソブロー用調整器	一次側圧力	0 - 25MPa
	二次側圧力	0 - 2.5MPa
	二次側圧力使用範囲	0.99MPa 以下
	標準流量	30m ³ /h
	入口側接続	W 22/14 (右) 袋ナット (P)
出口側接続		1/4" フレア (UNF 7/16 - 20 山)
チソ用ホース	接続口径	1/4" フレア (UNF 7/16 - 20 山) 45° ムシ押し付
	常用圧力	5MPa
	破裂圧力	20MPa
	長さ	300cm

標準付属品

品名	コードNo.	品名	コードNo.
チッソローキット	XP676	テーパースズル小	XP677
チッソロー用調整器	XP679	テーパースズル大	XP678
チッソ用ホース 3m	XP410	収納ケース	XP877
1/4" ボールバルブ (オス×メス)	Y93844	取扱説明書	IM0116

別販売品

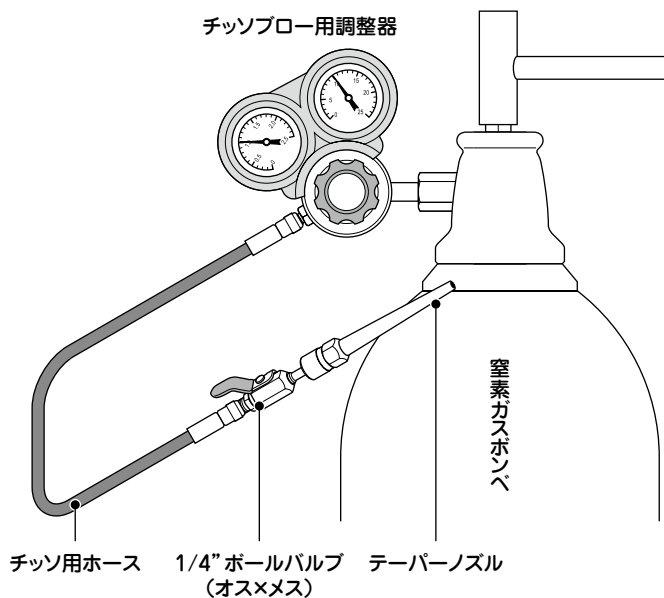
品名	コードNo.	備考
変換ニッブル W22 山オス× W23 山オス	BF0004	関西式ポンペを関東式ポンペ接続に変換。

使用方法

準備

図の通りに機器類を接続してください。

調整器の接続方法は別途の調整器の取扱説明書をご確認ください。



チソブローキット

調整器圧力調整方法

警告



- ◆「容器のバルブを開く」または「圧力を調整する」時は、身体を調整器に対して右斜め前に位置し、圧力計の正面には絶対に立たないください。
- ◆容器バルブの開閉は、専用の容器開閉ハンドルを使用してください。
- ◆容器開閉ハンドルは、容器に取付けたままにしておき、緊急の場合、すぐに閉じることができるようにしておいてください。
- ◆圧力調整ハンドルを操作していないにもかかわらず、低圧圧力計の指針が上がっていく場合があります。

これは「出流れ」という非常に危険な調整器の故障です。

直ちに容器バルブを閉じ、調整器を外し、すみやかに弊社または販売店にご連絡ください。

①「調整器・継手・配管等」が確実に接続されているかを確認してください。

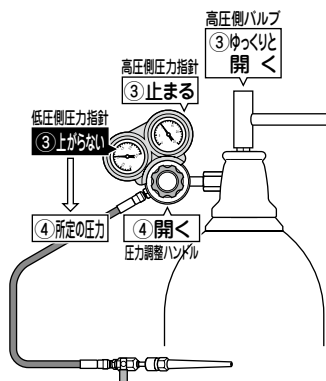
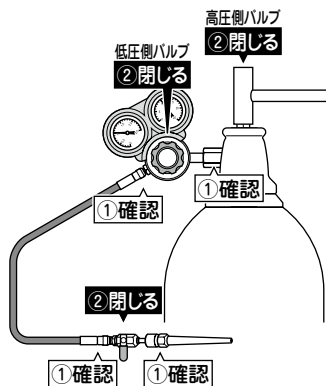
②「高圧側・低圧側のバルブ等」が閉じられていることを確認してください。

③ 高圧側のバルブをゆっくり開き、高圧側圧力の指針が止まるのを確認します。

※ 高圧側バルブを開いた後、低圧側のバルブが閉止状態の時に低圧圧力計の指針が上がらないこと（出流れがないこと）を確認してください。

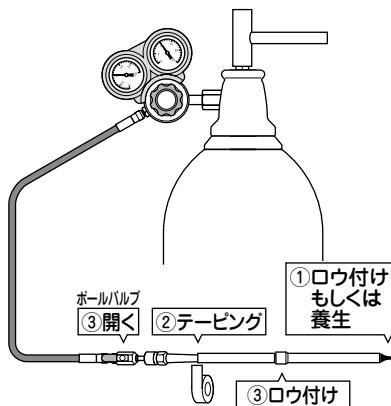
④ 調整器の圧力調整ハンドルを右に回していくと、低圧圧力計の指針が上がってきます。希望する圧力の位置に指針が止まるように圧力調整ハンドルを少しずつ回してください。

希望の圧力の位置よりも指針が高い圧力の位置で止まった場合、圧力調整ハンドルを左に回した後、出口弁等を少し開け、ガスを逃がし、指針が0になるのを確認してください。その後弁を閉じてから再度圧力を調整してください。



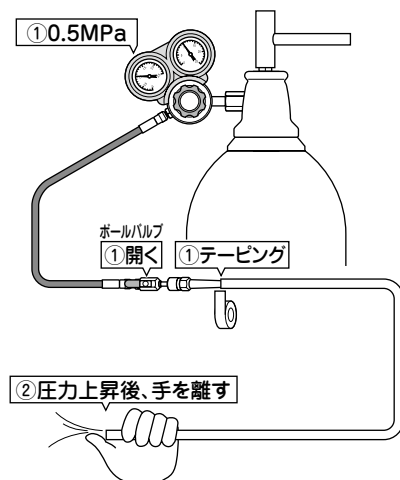
チソブロー

- ① 配管内部に水分、異物が入らないように管端を潰してロウ付けをするか、粘着テープを貼る等の養生をしてください。
- ② 配管のもう一方に配管径に合ったテーパースノズルを差込み、テーピング等をして、配管内に空気が流入しないよう密閉状態にしてください。
- ③ 配管内に窒素ガスを充填するまで流入した後、調整バルブで少量の窒素ガスを流入しながらロウ付けを行なってください。
- ④ 作業終了後、調整器のバルブを閉じ、続いて容器バルブを閉じてください。その後、火気がない風通しのよい場所で調整器のバルブを開け、ホース内の残ガスを調整器の指針が0になるまで放出してください。
- ⑤ 放出が完了したら、調整器の圧力調整ハンドルを左に軽くなる（または回らなくなる）までゆるめてください



フラッシング

- ① 配管径に合ったテーパースノズルを差込みテーピング等で固定をした後、窒素ガスを0.5MPaで流してください。
- ② もう一方の管端を手で塞いで、管内の圧力が上昇したら手を放してください。
- ③ 作業終了後、調整器のバルブを閉じ、続いて容器バルブを閉じてください。その後、火気がない風通しのよい場所で調整器のバルブを開け、ホース内の残ガスを調整器の指針が0になるまで放出してください。
- ④ 放出が完了したら、調整器の圧力調整ハンドルを左に軽くなる（または回らなくなる）までゆるめてください



●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号 :
購入年月日: 年 月 日
お買い求めの販売店

Asada アサダ株式会社

本 社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60

TEL (052) 911-7165

E-mail: sales@asada.co.jp

支 店 / 東京・名古屋・大阪

営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

海外事業所

アサダ・タイランド社 (バン コ ク)
台湾浅田股份有限公司 (台 北)
アサダ・ベトナム社 (ホーチミン)
アサダ・インド社 (ムンバイ)
上海浅田進出口有限公司 (上 海)
アサダ USA (オレゴン州・ユージン)

工 場

犬山工場 (愛知県・犬山市)
アサダ第一精工株式会社 (松 阪 市)
アサダ・マシナリー社 (バン コ ク)

製品の使用方法に関するお問合せは

☎ 0120-114510 (イシゴト)

(受付時間) 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土・日・祝日は除く)

www.asada.co.jp

Ver.02 コード No. IM0116 A